

科目名	保健体育（テニス）	英語科目名	Physical Education（Tennis）
開講年度・学期	平成 28 年度・前期	対象学科・専攻・学年	4 年全学科（全クラス種目選択制）
授業形態	実技	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	三原 大介	居室（もしくは所属）	講義棟 2 階研究室
電話	0285-20-2184	E-mail	mihara@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. テニスの正しいラケットの持ち方、フォアハンド、バックハンドストローク、サービスが出来る。	⑥	B, E	d-4, f, g, i
2. ルール・審判法を理解し、ゲームが出来る。	⑥	B, E○	d-4, f, g, i
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1～2について、実技試験によって5段階評価する。			
評価方法			
1～2についてサービス・ストローク・スマッシュ・フットワークなどの実技テストを行い、ゲーム成績を勘案し5段階評価する。 *授業態度、基本的技術、チーム成績を総合的に勘案し、A、B、C、D、Eの5段階で評価する。 *基本的に出席を重視し、欠課数が1/3を超える者は評価の対象にしない。			
授業内容			
ソフトテニス			
1. 用具、服装、授業内容、評価等についての説明、準備体操、ラケットの持ち方、フォアハンドストローク、整備体操			
2. 準備体操、フォアハンドグラウンドストローク、バックハンドグラウンドストローク練習、整備体操			
3. 準備体操、基本ストローク(フォアハンド、バックハンドグラウンドストローク)、サービス、整備体操			
4. 準備体操、コントロール技術、サービスとレシーブ、整備体操			
5. 準備体操、フットワーク、サービスとレシーブ、基本ストローク、整備体操			
6. 準備体操、ルール、審判の仕方説明、簡易ダブルスゲーム、整備体操			
7. 準備体操、スピードアップの技術、簡易ダブルスゲーム、整備体操			
8. 新体カテスト			
硬式テニス			
9. 準備体操、ラケットの持ち方、フォアハンド、バックハンドストローク、整備体操			
10. 準備体操、フォアハンドグラウンドストローク、バックハンドグラウンドストローク練習、整備体操			
11. 準備体操、基本ストローク(フォアハンド、バックハンドグラウンドストローク)、サービス、整備体操			
12. 準備体操、コントロール技術、サービスとレシーブ、整備体操			
13. 準備体操、フットワーク、サービスとレシーブ、基本ストローク、整備体操			
14. 準備体操、ルール、審判の仕方説明、簡易ダブルスゲーム、整備体操			
15. 準備体操、スピードアップの技術、簡易ダブルスゲーム、整備体操			
*雨天など天候不順の場合は、室内競技または体育講義を実施する。			
キーワード	テニス、コミュニケーション		
教科書	特になし		
参考書	特になし		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	保健体育		
現学年の関連科目	保健体育		
次年度以降の関連科目	保健体育		
連絡事項			
学校指定の体操着、体育館シューズを着用すること。それ以外は認めない。用具は学校で用意する。自分のグローブを持参しても良い。体育着忘れは減点かつ実技参加は認めない。遅刻は減点、遅刻3回は、授業1回の欠席にする。各クラスの週番は、必ず授業前の用具の準備、連絡事項の伝達を行うこと。			
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 22 日		